

## ～特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンと協定の更新～



**災害に備えた人命捜索救助隊の育成や、多機関連携型の緊急医療体制強化等、  
災害発生時の被災地支援活動に関する協定を更新**

JTは、地域社会への貢献活動における災害分野の取り組みの一環として、2016年9月より、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン（以下、PWJ）と人命捜索救助隊の育成支援および災害発生時の被災地支援活動に関する協定を締結しています。このたび、本協定について、2022年9月より3か年の更新を行いました。

本協定では、平時から災害の備えに取り組むことで、包摂的かつ持続的な地域社会の発展に寄与するとともに、近年、多発化、激甚化、広範囲化する災害発生時に、より迅速な被災地支援活動を図ることを目的としています。

**〈本協定における具体的な支援内容〉**

- ・ PWJが運営する災害救助犬を含む人命捜索救助隊の人員配置強化、育成と訓練に対する支援活動など、平時における災害リスク軽減
- ・ 災害時の支援受け入れを念頭に置いた合同訓練の実施等による海外 Search and Rescue（以下、SAR）活動団体との強固な連携体制の構築
- ・ 被災が想定される自治体や病院等との支援協定締結、支援団体や医療関係者との連携体制構築を含む、国内のステークホルダーとの関係強化
- ・ 救命活動に必要な装備・資機材の整備及びロジスティクス能力の強化
- ・ 多機関協力型フィールドホスピタル実現に向けた、ロジシステムの構築や実働訓練
- ・ 災害発生時のPWJからの現地情報を基にした、緊急物資輸送や迅速な被災地支援活動における連携



JTは、責任ある地域コミュニティの一員として、自然・社会・人間の多様性に価値を認め、包摂的かつ持続可能な地域社会の発展のため、幅広いステークホルダーとともに、社会課題の解決に向けて取り組んでいます。「環境保全」「格差是正」「災害分野」の三つの分野を重点領域として位置づけ、「災害分野」においては、発災直後の「緊急支援」、被災地における「復興支援」に加え、将来の災害に備えた「防災・減災」活動に取り組んでいます。

本取り組みを通じ、地域の災害リスク軽減への一助となることを期待するとともに、重点領域の一つとして、今後も、「災害分野」の課題解決に取り組んでまいります。

【別紙】

■ 協定概要

協定期間	2022年9月1日～2025年8月31日（3か年）
目的	防災・減災を目的とした、国際協力を含む取り組み水準の向上を目指し、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンが実施する、日本または世界各地における自然災害、紛争や貧困など人為的な要因による人道危機、生命や生活の危機などにさらされた人々への支援活動に対する支援。
支援内容	<ul style="list-style-type: none"><li>① International Search and Rescue Advisory Group 基準に基づく広範囲かつ継続的な SAR 訓練及び人的配置によるチーム育成</li><li>② 国内の大規模災害時の支援受け入れを念頭に置いた、合同訓練の実施等による海外の SAR 活動団体との強固な連携体制の構築</li><li>③ 救命活動に必要な装備・資機材の整備及びロジスティクス能力の強化</li><li>④ 大規模災害による被災が想定される自治体や病院等との支援協定締結、支援団体や医療関係者との連携体制構築を含む、国内のステークホルダーとの関係強化</li><li>⑤ 多機関協力型フィールドホスピタル実現に向けた、ロジシステムの構築や実働訓練</li><li>⑥ 国内外の有事に対応するための準備</li></ul>

■ ピースウィンズ・ジャパンの概要

名称：特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン

住所：広島県神石郡神石高原町近田 1161-2

設立年月日：1996年2月

代表理事兼統括責任者：大西健丞

URL：<https://peace-winds.org/>

PWJ は 1996 年の設立以来、自然災害、紛争、貧困などにより、世界各地でのいのちの危機にさらされた人びとの支援に取り組む団体です。これまでに世界 36 の国と地域で活動を行ってきました。2010 年からいち早く、国内外派遣を前提とした人命捜索救助隊の育成に取り組んできた非政府組織の一つでもあり、2019 年からは医療を軸とした災害緊急支援プロジェクト「空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”」を運営、西日本豪雨、令和 2 年 7 月豪雨など国内の自然災害のほか、トンガ大規模噴火災害、また、新型コロナウイルス感染拡大やウクライナ危機に対しても支援活動を展開しています。